



令和8年度
専攻科学生募集要項

(専攻科入学案内・
出願書類添付)

アドミッションポリシー
(求める学生像)

(専攻科全体)

1. 商船学もしくは工学の基本的な知識を習得している人
2. 基礎学力をさらに深め、実践力を有するデザイン能力を身につけたい人
3. 研究・開発能力を身につけ、自主的、継続的に努力できる人
4. 技術者倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として社会に貢献したい人

National Institute of Technology (KOSEN), Oshima College

独立行政法人 国立高等専門学校機構
大島商船高等専門学校

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1

TEL (0820) 74-5473 (学生課)

FAX (0820) 74-5554 (学生課)

目 次

I. アドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）	1
II. 募集人員	2
III. 選抜方法	2
IV. 日 程 表	2

推薦による選抜

1. 出願資格	3
2. 出願手続	3
3. 入学者選抜方法	4
4. 合格者の発表	4
5. 入学確約書の提出	5

学力検査による選抜

1. 出願資格	6
2. 出願手続	6
3. 入学者選抜方法	8
4. 合格者の発表	9
5. 入学確約書の提出	10

社会人特別選抜

1. 出願資格	11
2. 出願手続	11
3. 入学者選抜方法	13
4. 合格者の発表	13
5. 入学確約書の提出	14

V. 個人情報の取扱いについて	14
VI. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供	14

入学案内	16
研究のキーワード	21
教育課程表	23

添付の出願書類用紙等

- ① 入学願書
- ② 写真票・受験票
- ③ プレゼンテーション要旨
- ④ 推薦書
- ⑤ 調査書
- ⑥ 出願承諾書
- ⑦ 宛名票

令和8年度 専攻科学生募集要項

I. アドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

【専攻科入学者に求める学生像】

1. 商船学もしくは工学の基本的な知識を習得している人
2. 基礎学力をさらに深め、実践力を有するデザイン能力を身につけたい人
3. 研究・開発能力を身につけ、自主的、継続的に努力できる人
4. 技術者倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として社会に貢献したい人

【専攻科入学者選抜の基本方針】

専攻科入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・「推薦による選抜」においては、学校長が成績及び人物とも優れているものと認めて責任をもって推薦できる者に対して、プレゼンテーション要旨に添ってプレゼンテーションを行ってもらいます。それに対し、口頭試問・面接を行い、その他の提出書類とともに総合判定を行います。
- ・「学力検査による選抜」においては、学力検査（数学、専門科目）及びプレゼンテーション要旨に添ってプレゼンテーションを行ってもらい、それに対して口頭試問・面接を行い評価（点数化）します。これらの評価に、英語の得点（TOEICスコアを換算したもの）を加え、その他の提出書類とともに総合判定を行います。
- ・「社会人特別選抜」においては、勤務先の承諾または入学時に1年以上の勤務実績がある者に対して、プレゼンテーション要旨に添ってプレゼンテーションを行ってもらいます。それに対し、口頭試問・面接を行い、その他の提出書類とともに総合判定を行います。

Ⅱ. 募集人員

専攻名	入学定員	募集人員
海洋交通システム学専攻（令和8年10月入学）	4名	4名
電子・情報システム工学専攻（令和8年4月入学）	8名	8名

Ⅲ. 選抜方法

入学者の選抜方法	前期	中期	後期	
推薦による選抜	○	○		（3～5ページを参照）
学力検査による選抜		○	○	（6～10ページを参照）
社会人特別選抜	○	○	○	（11～14ページを参照）

Ⅳ. 日程表

◎ 海洋交通システム学専攻、電子・情報システム工学専攻

事項	前期	中期	後期
願書受付期間	令和7年5月1日（木） 5月9日（金）	令和7年8月25日（月） 8月29日（金）	令和8年2月13日（金） 2月17日（火）
検査日	5月17日（土）	9月10日（水）	3月4日（水）
合格発表日	5月27日（火）	9月17日（水）	3月10日（火）
入学確約書提出期限	推薦	6月13日（金）	10月3日（金）
	学力	電子・情報システム工学専攻 12月5日（金） 海洋交通システム学専攻 令和8年5月29日（金）	電子・情報システム工学専攻 3月16日（月） 海洋交通システム学専攻 令和8年5月29日（金）
	社会人	6月13日（金）	10月3日（金）

- * 受験者自身の責めに帰することができない理由で選抜検査を受験することができなかった方を対象に追試験を実施します。詳細については、お問い合わせください。
- * 後期検査については、前期検査・中期検査の結果、募集人員を満たしている場合は実施しないことがあります。
- * 海洋交通システム学専攻については、令和8年9月時にも学力選抜、社会人特別選抜を行うことがあります。日程については、お問い合わせください。

推薦による選抜

1. 出願資格

推薦入学を志願できる者は、令和8年3月若しくは令和8年9月※に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物とも優れているものと認めて責任をもって推薦できる者としてします。

※令和8年9月に卒業見込みの者は、海洋交通システム学専攻のみの出願とします。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

前期	令和 7 年 5 月 1 日（木）～ 5 月 9 日（金）午後4時まで（必着）
中期	令和 7 年 8 月 2 5 日（月）～ 8 月 2 9 日（金）午後4時まで（必着）

注1）持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます。ただし、土曜日・日曜日・祝日は受け付けません。

注2）郵送の場合は、期間内必着ですから、郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。

(2) 願書受付場所

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 学生課教務係
TEL (0820) 74-5473

(3) 提出書類

書類等			摘 要
入 学 志 願 者 が 作 成 す る も の	①	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。
	②	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。 写真票には、上半身、脱帽、正面向きで最近3か月以内に撮影した写真（たて4.5cm×よこ3.5cm）を貼り付けてください。写真の裏面には氏名を記入してください。
	③	プレゼンテーション要旨	本校所定の様式に、 ・あなたが専攻科を目指す目的や自己アピール ・希望する研究内容（本募集要項のp.21, 22を参照） それぞれ500字程度で記入してください。
	④	入学検定料 （振込金受取書）	<u>16,500円</u> 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「①入学願書」の裏面に貼り付けてください。依頼人名は、必ず「入学志願者氏名」としてください。 【振込先】 山口銀行 大島支店 （普通）6088470 ドクワセキワキワ 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部
	⑤	宛名票	本校所定の様式に、入学志願者の郵便番号、住所、氏名を3か所に記入してください。 可否の結果及び合格後の資料等を郵送しますので、必ず入学志願者本人宛にしてください。

	⑥	受験票送付用封筒 (長形3号)	受験票の郵送を希望する場合は、入学志願者の住所及び氏名を記入し、所定の料金の切手を貼付した封筒を提出してください。
高等専門学校で作成するもの	⑦	推薦書	本校所定の様式により、学校長が作成し厳封したもの
	⑧	卒業見込証明書	出身学校の様式により、学校長が作成したもの
	⑨	調査書	本校所定の様式により、学校長が作成し厳封したもの
	⑩	成績証明書	出身学校の様式により、学校長が作成し厳封したもの
	⑪	その他	外国人が志願する場合、居住する市区町村長の交付する「住民票」を提出してください。

(4) 出願に関する注意事項

- ア 提出書類は一括で提出してください。不備のあるものは受理しません。
- イ 提出書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ウ 郵送する場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- エ 願書受付後は、記載事項の変更は認められません。
- オ 願書受付後は、提出書類はいかなる理由があっても返却しません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、プレゼンテーション要旨に添ってプレゼンテーション(10分程度)を行っていただきます。それに対し、口頭試問・面接(20分程度)を行い、その他の提出書類とともに総合判定を行います。

なお、プレゼンテーションについては、プロジェクターの使用も可能です。

(1) 検査日

前 期	令和 7年 5月17日(土)
中 期	令和 7年 9月10日(水)

(2) 日程等

前 期 中 期	9:30	大島商船高等専門学校 図書館ロビーに集合
	10:00 ~	プレゼンテーション(10分程度)、 口頭試問・面接(20分程度)

(3) 受験地

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校

4. 合格者の発表

(1) 日時

前 期	令和 7年 5月27日（火） 正午
中 期	令和 7年 9月17日（水） 午前10時

（2）発表方法

合格者の受験番号を本校の図書館玄関前に掲示します。（本校のホームページにも掲載します。）

また、受験者には、合否の結果を郵便で通知します。

なお、電話、メール等での合否に関する問い合わせには応じません。

注）合格発表後、午後1時までの間、本人のみ学生課教務係窓口において、判定結果関係書類を手渡しできます。

（希望される方は、身分等を証明できるものを持参してください。）

大島商船高等専門学校のホームページアドレス

<https://www.oshima-k.ac.jp/>

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を学生課教務係へ下記日時までに必着するように提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校へ入学の意志がないものとして取り扱います。

前 期	令和 7年 6月13日（金） 午後4時まで
中 期	令和 7年10月 3日（金） 午後4時まで

学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月若しくは令和8年9月に卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 及び 令和7年3月に修了見込みの者
- (7) その他高等専門学校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(1)の令和7年9月に卒業見込みの者は、海洋交通システム学専攻のみの出願とします。

※(2)～(7)に該当する出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の前の週までに、申請取得できる学位等について学生課教務係に必ず確認してください。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

中 期	令和 7年 8月25日（月）～ 8月29日（金） 午後4時まで（必着）
後 期	令和 8年 2月13日（金）～ 2月17日（火） 午後4時まで（必着）

注1）持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます。ただし、土曜日・日曜日・祝日は、受け付けません。

注2）郵送の場合は、期間内必着ですから、郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。

(2) 願書受付場所

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1

大島商船高等専門学校 学生課教務係

TEL (0820) 74-5473

(3) 提出書類

書類等		摘 要
入学志願者が作成等するもの	①	入学願書
	②	受験票 写真票
	③	プレゼンテーション要旨
	④	入学検定料 (振込金受取書)
	⑤	宛名票
	⑥	受験票送付用封筒 (長形3号)
	⑦	TOEICのスコアシート等の原本
出身学校等で作成するもの	⑧	卒業証明書または 卒業見込証明書
	⑨	調査書
	⑩	成績証明書
	⑪	その他

(4) 出願に関する注意事項

- ア 提出書類は一括で提出してください。不備のあるものは受理しません。
- イ 提出書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ウ 郵送する場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- エ 願書受付後は、記載事項の変更は認められません。
- オ 願書受付後は、提出書類はいかなる理由があっても返却しません。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（数学100点、専門科目300点）及びプレゼンテーション要旨（50点）に添ってプレゼンテーション（10分程度・50点）を行ってもらい、それに対して口頭試問・面接（20分程度・100点）を行い評価（点数化）します。これらの評価に、英語の得点（TOEICのスコアの換算したもの・（スコア-200）×0.4）※を加え、その他の提出書類（調査書及び成績証明書の配点は、5段階評価の平均点を20倍の計100点）、合計800点とともに総合判定を行います。※ただし、スコアが200点までは0点とし、小数点以下は切り捨てとし、得点の上限は100点とします。

なお、プレゼンテーションについては、プロジェクターの使用も可能です。

(1) 検査日

中 期	令和 7年 9月10日（水）
後 期	令和 8年 3月 4日（水）

(2) 日程等

8:50	大島商船高等専門学校 図書館ロビーに集合
9:00	検査室入室
9:30 ~ 10:30	数 学
10:50 ~ 12:20	専門科目
13:10 ~	面 接

(3) 検査科目及び出題範囲等

◎ 海洋交通システム学専攻

科 目	時 間	配 点	出 題 範 囲
数 学	60分	100点	微分・積分学，線形代数，微分方程式
専門科目	90分	300点	航海系 「航海計器」，「海洋気象」，「海上交通法」
			機関系 「内燃機関」，「電気工学」，「熱力学」
面 接	プレゼンテーション（10分程度）をもとにした口頭試問・面接（20分程度）		

◎ 電子・情報システム工学専攻

科 目	時 間	配 点	出 題 範 囲
数 学	60分	100点	微分・積分学，線形代数，微分方程式
専門科目	90分	300点	電気電子・機械工学系 「電気工学」，「電子工学」， 「情報工学」又は「工業力学」
			情報工学系 「情報数学」，「プログラミング・アルゴリズム」， 「電気・電子工学」
面 接	プレゼンテーション（10分程度）をもとにした口頭試問・面接（20分程度）		

(4) 受験地

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校

(5) 留意事項

- ア 携帯電話等は，検査場に入る前に電源を必ず切って，カバンにしまってください。
（これらを時計として使用することはできません。）
- イ 机の上に置けるものは，「受験票」，「筆記用具」及び「時計（計時機能だけのもの）」です。

4. 合格者の発表

(1) 日時

中 期	令和 7年 9月17日（水） 午前10時
後 期	令和 8年 3月10日（火） 午前10時

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本校の図書館玄関前に掲示します。（本校のホームページにも掲載します。）
また，受験者には，可否の結果を郵便で通知します。
なお，電話，メール等での可否に関する問い合わせには応じません。

注）合格発表後，午後1時までの間，本人のみ学生課教務係窓口において，判定結果関係書類を手渡しできます。
（希望される方は，身分等を証明できるものを持参してください。）

大島商船高等専門学校のホームページアドレス

<https://www.oshima-k.ac.jp/>

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を学生課教務係へ下記日時までに必着するように提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校へ入学の意志がないものとして取り扱います。

◎ 海洋交通システム学専攻

中 期 後 期	令和 8 年 5 月 2 9 日（金） 午後 4 時まで
------------	------------------------------

◎ 電子・情報システム工学専攻

中 期	令和 7 年 1 2 月 5 日（金） 午後 4 時まで
後 期	令和 8 年 3 月 1 6 日（月） 午後 4 時まで

社会人特別選抜

1. 出願資格

勤務先の承諾又は入学時に1年以上の勤務実績があり、かつ次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他高等専門学校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(2)～(7)に該当する出願者は、出願を希望する日程の願書受付期間の、前の週までに、申請取得できる学位等について学生課教務係に必ず確認してください。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

前期	令和 7年 5月 1日(木) ～ 5月 9日(金) 午後4時まで(必着)
中期	令和 7年 8月25日(月) ～ 8月29日(金) 午後4時まで(必着)
後期	令和 8年 2月13日(金) ～ 2月17日(火) 午後4時まで(必着)

注1) 持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます。ただし、土曜日・日曜日・祝日は、受け付けません。

注2) 郵送の場合は、期間内必着ですから、郵便事情を考慮して、余裕を持って発送してください。

(2) 願書受付場所

山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1

大島商船高等専門学校 学生課教務係

TEL (0820) 74-5473

(3) 提出書類

書類等			摘 要
入学志願者が作成するもの	①	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。 なお、受験票の裏面には、入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の料金分の切手を必ず貼ってください。
	②	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。 写真票には、上半身、脱帽、正面向きで最近3か月以内に撮影した写真（たて4.5cm×よこ3.5cm）を貼り付けてください。写真の裏面には氏名を記入してください。
	③	プレゼンテーション要旨	本校所定の様式に、 ・あなたが専攻科を目指す目的や自己アピール ・希望する研究内容（本募集要項のp.21, 22を参照） それぞれ500字程度で記入してください。
	④	入学検定料 （振込金受取書）	16,500円 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「①入学願書」の裏面に貼り付けてください。依頼人名は、必ず「入学志願者氏名」としてください。 【振込先】 山口銀行 大島支店 （普通）6088470 トクワセキカクソ 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部
	⑤	宛名票	本校所定の様式に、入学志願者の郵便番号、住所、氏名を3か所に記入してください。 可否の結果及び合格後の資料等を郵送しますので、必ず入学志願者本人宛にしてください。
	⑥	受験票送付用封筒 （長形3号）	受験票の郵送を希望する場合は、入学志願者の住所及び氏名を記入し、所定の料金の切手を貼付した封筒を提出してください。
	⑦	業務実績書	業務実績書は、企業等における業務内容について、1200字程度でA4用紙1枚にパソコン等で作成したもの
出身学校等で作成するもの	⑧	卒業証明書	出身学校の様式により、学校長が作成したもの
	⑨	調査書	本校所定の様式により、学校長が作成し厳封したもの なお、出願資格の(3)により出願する者は、次の書類を添付してください。 1. 専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 2. 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類
	⑩	成績証明書	出身学校の様式により、学校長が作成し厳封したもの
	⑪	出願承諾書	出願承諾書は、本校所定の様式により、勤務先の所属長が作成したもの（企業等に在職のまま入学する者のみ提出してください。）
	⑫	その他	外国人が志願する場合、居住する市区町村長の交付する「住民票」を提出してください。

(4) 出願に関する注意事項

- ア 提出書類は一括で提出してください。不備のあるものは受理しません。
- イ 提出書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ウ 郵送する場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。
- エ 願書受付後は、記載事項の変更は認められません。
- オ 願書受付後は、提出書類はいかなる理由があっても返却しません。

3. 入学者選抜方法

入学志願者には、プレゼンテーション要旨に添ってプレゼンテーション（１０分程度）を行っていただきます。それに対し、口頭試問・面接（２０分程度）を行い、その他の提出書類とともに総合判定を行います。

なお、プレゼンテーションについては、プロジェクターの使用も可能です。

(1) 検査日

前 期	令和 7年 5月17日（土）
中 期	令和 7年 9月10日（水）
後 期	令和 8年 3月 4日（水）

(2) 日程等

前 期	9：30	大島商船高等専門学校 図書館ロビーに集合
中 期 後 期	10：00 ～	プレゼンテーション（１０分程度）、 口頭試問・面接（２０分程度）

(3) 受験地

山口県大島郡周防大島町大字小松１０９１番地１
大島商船高等専門学校

4. 合格者の発表

(1) 日時

前 期	令和 7年 5月27日（火） 正午
中 期	令和 7年 9月17日（水） 午前10時
後 期	令和 8年 3月10日（火） 午前10時

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本校の図書館玄関前に掲示します。（本校のホームページにも掲載します。）

また、受験者には、合否の結果を郵便で通知します。

なお、電話、メール等での合否に関する問い合わせには応じません。

注）合格発表後、午後１時までの間、本人のみ学生課教務係窓口において、判定結果関係書類を手渡しできます。
（希望される方は、身分等を証明できるものを持参してください。）

大島商船高等専門学校のホームページアドレス

<https://www.oshima-k.ac.jp/>

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を学生課教務係へ下記日時までに必着するように提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校へ入学の意志がないものとして取り扱います。

前 期	令和 7 年 6 月 1 3 日（金） 午後4時まで
中 期	令和 7 年 1 0 月 3 日（金） 午後4時まで
後 期	令和 8 年 3 月 1 6 日（月） 午後4時まで

V. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

なお、その他の目的には利用しません。

- （１）入学後の教育・指導
- （２）入学料、授業料の免除申請の審査
- （３）奨学金申請の審査
- （４）本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VI. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供

大島商船高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めにご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。（下記相談の目安を参照ください。）

必要に応じて、入学志願者の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まと

め)」によって示されている，1)障害者手帳の種別・等級・区分認定，2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書，3)標準化された心理検査等の結果，4)専門家の所見，5)本専攻科入学前の支援状況に関する資料，6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか，担当係において確認いたします。満たしていない場合は，その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には，合理的配慮提供のための準備を十分に行うために，出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後，または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると，修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。

なお，事前相談を受けられても，入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

(1) 相談の目安

前期検査 令和7年4月14日(月)まで

中期検査 令和7年7月28日(月)まで

後期検査 令和8年1月19日(月)まで

(2) 相談窓口

大島商船高等専門学校 学生課教務係

TEL (0820) 74-5473

入学案内

1. 大島商船高等専門学校の教育目標、専攻科の教育目的

本校専攻科では、本校の教育目標を達成するよう、優れた専門性と豊かな人間性を有する高度な海運管理者と実践的開発技術者の育成の目的を実現するため、教育を行っています。

【本校の教育目標】

1. 豊かな教養と国際感覚を身につけた、視野の広い技術者を養成する。
2. 協同の精神と責任感を培い、集中力・耐久力を養い、指導者として必要な能力を育成する。
3. 探究心を養い、身体を鍛え、先人の遺産を学び、新技術を創造できる能力を育成する。

【専攻科（海事交通システム学専攻）教育目的】

- ・海洋を中心とした国際・国内物流管理分野及び海事関連分野で活躍できる海運管理者の養成

【専攻科（電子・情報システム工学専攻）教育目的】

- ・電子・情報システムに関する高度な研究開発ができる実践的開発技術者の養成

【専攻科（共通）教育目的】

- ・IT 教育により、高度なコンピュータ支援能力の育成
- ・国際化教育により、語学力や文化的教養の育成
- ・福祉と環境も考慮に入れることのできる総合力の育成

2. ディプロマポリシー（修了認定方針）

【海洋交通システム学専攻】

海洋交通システム学専攻では、教育上の目的に掲げる人材育成のために次のような具体的な能力と素養を定め、これらを身に付けかつ所定の単位を修得した学生に修了を認定します。

1. 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができる海洋交通システム技術者
 - (1) 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる。
 - (2) 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。
2. 海・船・物流等に係る知識・技術を身に付け、海陸の複合領域で活躍できる海洋交通システム技術者
 - (1) 商船学分野における諸現象の仕組みを数学的・物理的に理解できる。
 - (2) 船舶運航に関する航海学、運用、主機関並びに補助機関に関する分野について論理的に説明できる。
 - (3) 船舶とその運航に関する総合的な分野の実験・実習を通して、理論的に考察し、活用することができる。
3. 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できる海洋交通システム技術者
 - (1) 日本語・外国語により書かれた文献を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。
 - (2) 個人又はグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現することができる。
 - (3) 新しい海事に関するシステムの概念を創生し、表現することができる。

【電子・情報システム工学専攻】

電子・情報システム工学専攻では、教育上の目的に掲げる人材育成のために次のような具体的な能力と素養を定め、これらを身に付けかつ所定の単位を修得した学生に修了を認定します。

1. 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができる電子情報システム技術者
 - (1) 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる。
 - (2) 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができる。
2. メカトロニクス・ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身に付け、高度な情報化社会に貢献できる電子情報システム技術者
 - (1) 工学分野における諸現象のしくみを数学的・物理的に理解できる。
 - (2) 電気電子分野、機械分野及び情報通信分野について論理的に説明できる。
 - (3) 電気電子分野、機械分野及び情報通信分野の実験・演習を通して、工学的に考察し、活用することができる。
3. メカトロニクス、知能システムを設計・構築できる電子情報システム技術者
 - (1) 日本語・外国語により書かれた文献を理解し、文章や口頭発表により表現することができる。
 - (2) 個人又はグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現することができる。
 - (3) 新しいメカトロニクス、知能システムの概念を創生し、表現することができる。

3. カリキュラムポリシー（教育課程方針）

【海洋交通システム学専攻】

海洋交通システム学専攻では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身に付けるため、次のような編成方針に基づいた教育を実施します。

1. 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができるように
 - (1) 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができるように人文科学・社会科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (2) 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができるように技術者倫理や社会科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
2. 海・船・物流等に係る知識・技術を身に付け、海陸の複合領域で活躍できるように
 - (1) 商船学分野における諸現象の仕組みを理解するために、数学及び物理に関する高度な自然科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (2) 船舶運航に関する航海学、運用、主機関並びに補助機関に関する分野の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (3) 船舶とその運航に関する総合的な分野の理論的な考察をする能力、技術を活用する能力を身に付けるために、特別実験を設け、実験を主とした学修方法により展開する。
3. 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できるように
 - (1-1) 外国語による文章理解能力を育成するために、実践的な英語科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (1-2) 論理的な文章を作成する能力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、特別研究を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修方法により展開する。
 - (2) 個人又はグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現する能力を身に付けるために、特別演習と特別実験によるグループワーク系(プロジェクトベース)科目を設け、演習・実験を主とした学修方法により展開する。
 - (3) 新規課題へ自主的に取り組む姿勢、研究能力、問題解決能力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、特別研究を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修方法により展開する。

【電子・情報システム工学専攻】

電子・情報システム工学専攻では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身に付けるため、次のような

編成方針に基づいた教育を実施します。

1. 国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができるように

- (1) 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができるように人文科学・社会科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
- (2) 社会、福祉や環境に与える影響を考慮し、経済的・倫理的な視点から考えることができるように技術者倫理や社会科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。

2. メカトロニクス・ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身に付け、高度な情報化社会に貢献できるように

- (1) 工学分野における諸現象のしくみを理解するために、数学及び物理に関する高度な自然科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
- (2) 工学分野における専門知識を論理的に説明する能力を育成するために、電気電子分野、機械分野及び情報通信分野の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
- (3) 電気電子分野、機械分野及び情報通信分野の工学的な考察をする能力、技術を活用する能力を身に付けるために、特別実験を設け、実験を主とした学修方法により展開する。

3. メカトロニクス、知能システムを設計・構築できるように

- (1-1) 外国語による文章理解能力を育成するために、実践的な英語科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
- (1-2) 論理的な文章を作成する能力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、特別研究を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修方法により展開する。
- (2) 個人又はグループで計画的にプロジェクトを進め、創造的なシステムを実現する能力を身に付けるために、創造工学演習と特別実験によるグループワーク系(プロジェクトベース)科目を設け、演習・実験を主とした学修方法により展開する。
- (3) 新規課題へ自主的に取り組む姿勢、研究能力、問題解決能力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、特別研究を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修方法により展開する。

4. 専攻科の授業科目

専攻科の授業科目は、「一般科目」「専門共通科目」「専門専攻科目」で構成されています。

なお、各専攻における授業科目については、各専攻教育課程表（本募集要項のp.23, 24）を参照してください。

5. 修業年限

2年

6. 学士の学位取得

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たした者については、大学改革支援・学位授与機構が行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、学士（商船学）あるいは学士（工学）の学位を取得できます。

7. 入学時に必要な経費

区 分	金 額	
入 学 料	84,600円	
前 期 授 業 料	117,300円	(年額234,600円)
学 生 会 費	4,800円	(年額 9,600円)
傷 害 保 険	1,550円	

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

また、上記以外に教科書代や奨学後援会（学生の保護者又は、これにかわる者の組織）会費等として、入会金 10,000 円、会費 24,000 円（年額）が必要となります。

8. 入学料・授業料免除

(1) 入学料免除

下記のような特別な事情により入学料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ・入学前1年以内に入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡した場合
- ・入学前1年以内に入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(2) 授業料免除

下記のような特別な事情により授業料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

- ・入学前1年以内に入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡した場合
- ・入学前1年以内に入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

また、大学等の修学の支援に関する法律による授業料等の減免制度もあります。

(9. 奨学金制度(3)参照)

9. 奨学金制度

本校には、次のような奨学金制度があります。

(1) 日本学生支援機構（貸与）

日本学生支援機構の規定により、学資の支弁が困難と認められかつ、学業成績・人物ともに優れている者に対し、本人の申請に基づき選考のうえ日本学生支援機構から貸与する制度があります。

	区 分	貸 与 月 額
第 一 種 (無 利 子)	自 宅 通 学 者	20,000円 ～ 45,000円
	自 宅 外 通 学 者	20,000円 ～ 51,000円
第 二 種 (有 利 子)	-	20,000円 ～ 120,000円

(2) 海技教育財団（貸与）

海技教育財団の規定により、学業及び人物が優秀であり、かつ、船員になろうとする者で、家計の状況からみて、奨学金の貸与が必要と認められる者（海洋交通システム学専攻のみ）に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、海技教育財団から貸与する制度です、

貸 与 月 額
50,000円または25,000円から選択

(3) 日本学生支援機構給付奨学金＋授業料等減免

大学等における修学の支援に関する法律の規定により、学業基準と家計基準の両方を満たす者に対し、本人からの申請に基づく審査のうえ給付型奨学金（返還不要）と授業料および入学料の減免による支援を行う制度です。本人および生計維持者の収入状況に応じて決まる「支援区分」ごとに奨学金の支給額や授業料減免額が決められています。

支援区分	支給額（月額） ＜自宅通学の場合＞	支給額（月額） ＜自宅外通学の場合＞	授業料減免額 （半期分）	入学料減免額
第Ⅰ区分	17,500円	34,200円	117,300円	84,600円
第Ⅱ区分	11,700円	22,800円	78,200円	56,400円
第Ⅲ区分	5,900円	11,400円	39,100円	28,200円

10. 学寮

本校には、男子寮、女子寮があり、およそ200人の学生が生活しています。専攻科の学生も、「入寮願」に基づき、審査のうえ入寮が許可されることになります。

研究のキーワード

◎ 海洋交通システム学専攻

区分	指導教員名	(特別研究) キーワード
商 船 学	千葉 元	船舶安全, 海上安全, 地域気象, 海洋環境計測, 船舶管理, 海事法, 海事関連国際条約, 海難, 海事史, 練習船の活用, 現地調査
	清水 聖治	メカトロニクス, 機械システム, 電気システム, プログラミング, 数値解析, 数理計画法, 総合評価
	朴 鍾徳	エネルギー変換, 限界熱流束, グローバル連携教育
	久保田 崇	航海情報計測, 操船訓練, 操船シミュレータ, 避航動作
	小林孝一郎	マイクロ流路, 内部流, 分離, 磁気ビーズ, 濃度
	鶴 大輔	船用機関, 船用燃料, 燃料噴霧
	増山 新二	材料力学, 材料評価, 機械材料
	石原 良晃	海上輸送, 生産・在庫システム, 物流システム, スケジューリング, 数理計画法, 近似解法, メタヒューリスティクス

(注) 指導教員等の都合により, 上記の研究テーマを実施できない場合や引き受けができない場合がありますので, 事前に, 実施可能かどうかを必ず確認のうえ願書を提出してください。

◎ 電子・情報システム工学専攻

区分	指導教員名	(特別研究) キーワード
機械工学	浅川 貴史	ヒューマンインタフェース, バイオメカニズム, 福祉工学, 組込みシステム, ロボット工学, IoT
	増山 新二	極低温, 小型冷凍機, 蓄冷熱材料, 材料評価
	笹岡 秀紀	表面改質, 耐熱, 耐プラズマ, 耐摩耗, プラズマ溶射, プラズマ診断, 材料評価, 画像解析 温度計測, 速度計測
	中村 翼	大気圧プラズマ, 電子サイクロトロン共鳴, 多価イオン, 熱応力, 質量分離, ウィーンフィルタ, プラズマおよびプロセスガス等の流体挙動, 海事システム
	朴 鍾徳	自然エネルギー, エネルギー変換, 熱流束促進
	鶴 大輔	画像解析, 画像計測, 燃焼, 内燃機関
	渡邊 武	材料力学, 材料評価, 機械材料
電気電子工学	浅川 貴史	ヒューマンインタフェース, バイオメカニズム, 福祉工学, 組込みシステム, ロボット工学, IoT
	藤井 雅之	絶縁材料, 高電界, 不平等電界, 誘電特性, 絶縁特性, 絶縁劣化, 絶縁破壊, 劣化診断, 再生可能エネルギー, 太陽光, 太陽熱, 潮流発電, 発電特性, 発電効率, 蓄電
	笹岡 秀紀	表面改質, 耐熱, 耐プラズマ, 耐摩耗, プラズマ溶射, プラズマ診断, 材料評価, 画像解析 温度計測, 速度計測
	中村 翼	大気圧プラズマ, 電子サイクロトロン共鳴, 多価イオン, 熱応力, 質量分離, ウィーンフィルタ, プラズマおよびプロセスガス等の流体挙動, 海事システム
	千葉 元	気象観測, 海洋環境計測, ADCP, CTD, マイクロ波ドップラレーダ式波高計, 人工衛星リモートセンシング, 超音波計測, 電波計測・通信
	山田 博	超電導材料, 半導体材料, 音響解析
情報工学	石原 良晃	生産・在庫システム, 物流システム, スケジューリング, 数理計画法, 近似解法, メタヒューリスティクス
	杉野 直規	外観検査, 画像処理, 照明, パターン投影, コンピュータグラフィクス, 光学シミュレーション
	北風 裕教	深層学習, 小水力発電システムと応用, 害鳥害獣対策システム, ドローン制御, 医療システム, がん細胞認識・分類システム
	高橋 芳明	オートマトン理論, 形式言語理論, 計算複雑性理論
	尾崎 南斗	医用画像処理, 機械学習, 深層学習, ソフトコンピューティング
	浅川 貴史	ヒューマンインタフェース, バイオメカニズム, 福祉工学, 組込みシステム, ロボット工学, IoT

(注) 指導教員等の都合により, 上記の研究テーマを実施できない場合や引き受けができない場合がありますので, 事前に, 実施可能かどうかを必ず確認のうえ願書を提出してください。

海洋交通システム学専攻教育課程表

区 分		必修 選択 の別	授 業 科 目	単 位 数	学年別配当		講義・実 験・演習 の区別	備 考	
					1 年	2 年			
一 般 科 目	必 修	実践英語Ⅰ	2	2			講義		
		履修単位数	2						
	選 択	ボランティア	1	1			実習		
		実践英語Ⅱ	2	2			講義		
		異文化論	2	2			講義		
		技術者倫理	2	2			講義		
		日本文学概論	2	2			講義		
		開設単位数	9						
		履修単位数	4単位以上（ボランティアを含まない。）						
専 門 科 目	必 修	実用技術英語	2	2			講義		
		応用数学特論Ⅰ	2	2			講義		
		コンピュータシミュレーション	2	2			講義		
		履修単位数	6						
	選 択	応用数学特論Ⅱ	2	2			講義		
		応用物理科学	2	2			講義		
		環境科学	2	2			講義		
		材料学	2	2			講義		
		数値解析特論	2	2			講義		
		機械システム学	2		2		講義		
		電子機器特論	2	2			講義		
		情報システム学	2	2			講義		
		エネルギーシステム学	2		2		講義		
		産業論	2		2		講義		
		開設単位数	20						
		履修単位数	10	単位以上					
	専 門 専 攻 科 目	必 修	海洋交通システム学特別研究Ⅰ	4	4			実験	
			海洋交通システム学特別研究Ⅱ	12		12		実験	
			海洋交通システム学特別実験	4	4			実験	
			海洋交通システム学特別演習	4	2	2		演習	
			履修単位数	24					
		選 択	インターンシップ	2	2			実習	
			交通システム工学	2	2			講義	
			海事統計学	2	2			講義	
			海洋ロボット工学	2		2		講義	
			機関システム工学	2	2			講義	
			船舶安全学特論	2	2			講義	
			流通ターミナル論	2		2		講義	
			船体運動学特論	2		2		講義	
			船舶ヒューマンマシンインターフェース論	2	2			講義	
			エネルギー変換工学	2	2			講義	
			反応工学論	2		2		講義	
			冷凍空調システム工学	2		2		講義	
燃焼工学特論			2		2		講義		
情報工学特論			2	2			講義		
開設単位数			28						
履修単位数	16単位以上（インターンシップを含まない。）								
一般・専門科目 開設単位数合計			89						
修 得 単 位 数 合 計			62単位以上（ボランティア，インターンシップを 含まない。）						

電子・情報システム工学専攻教育課程表

区 分		必修 選択 の別	授 業 科 目	単 位 数	学年別配当		講義・実 験・演習 の区別	備 考	
					1 年	2 年			
一 般 科 目	必 修	実践英語Ⅰ	2	2		講義			
		履修単位数	2						
	選 択	ボランティア	1	1		実習			
		実践英語Ⅱ	2		2	講義			
		異文化論	2	2		講義			
		技術者倫理	2	2		講義			
		日本文学概論	2	2		講義			
		開設単位数	9						
		履修単位数	4単位以上（ボランティアを含まない。）						
専 門 科 目	必 修	実用技術英語	2	2		講義			
		応用数学特論Ⅰ	2	2		講義			
		コンピュータシミュレーション	2	2		講義			
		履修単位数	6						
	選 択	応用数学特論Ⅱ	2	2		講義			
		応用物理科学	2	2		講義			
		環境科学	2		2	講義			
		材料学	2		2	講義			
		数値解析特論	2	2		講義			
		機械システム学	2	2		講義			
		電子機器特論	2		2	講義			
		情報システム学	2	2		講義			
		エネルギーシステム学	2		2	講義			
		産業論	2		2	講義			
		開設単位数	20						
		履修単位数	10	単位以上					
		専 門 専 攻 科 目	必 修	電子・情報システム工学特別研究Ⅰ	4	4		実験	
	電子・情報システム工学特別研究Ⅱ			12		12	実験		
	電子・情報システム工学特別実験			4	4		実験		
	創造工学演習			2	2		演習		
	電子・情報システム工学特論			2		2	講義		
	履修単位数			24					
	選 択		インターンシップ	2	2		実習		
			画像処理	2		2	講義		
			電子物性工学	2	2		講義		
			集積回路工学特論	2	2		講義		
			高電圧工学特論	2		2	講義		
			電子制御工学	2	2		講義		
			デジタルシステム	2	2		講義		
			マルチメディア応用技術	2	2		講義		
			応用画像工学	2	2		講義		
			通信ネットワーク工学	2	2		講義		
			認識工学	2		2	講義		
			応用信号処理	2	2		講義		
			生産管理特論	2	2		講義		
			人間感性システム特論	2		2	講義		
	開設単位数	28							
	履修単位数	16単位以上（インターンシップを含まない。）							
	一般・専門科目開設単位数合計			89					
	修 得 単 位 数 合 計			62単位以上（ボランティア，インターンシップを 含まない。）					

* 該当するものにチェックをしてください。

入学願書

					受験番号		※		
志願専攻名		学専攻							
学力検査において 選択する専門科目		海洋交通システム学専攻		航海系		「学力選抜」による志願者は志願する専攻についていずれかを選択し○をつけてください			
				機関系					
		電子・情報システム工学専攻		電気電子・機械工学系					
				情報工学系					
フリガナ 氏 名 (生年月日)		平成 年 月 日生							
フリガナ 現 住 所		〒 TEL 自宅 () — 携帯 — —							
出身学校		学 校 学 科 平成・令和 年 月 卒業見込 ・ 卒 業							
高専等卒業後の 学歴及び職歴等		自		平成・令和	年	月	日		
		至		平成・令和	年	月	日		
		自		平成・令和	年	月	日		
		至		平成・令和	年	月	日		
		自		平成・令和	年	月	日		
		至		平成・令和	年	月	日		
勤 務 先 (部・課まで) 勤務先住所		〒 — TEL () —							

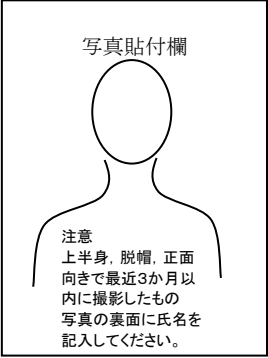
- 1) ※印欄は、記入しないでください。
- 2) 出身学校については、出願資格に該当するものを記入してください。

写真票

受験番号	※
志願専攻名	学専攻
学力検査において選択する専門科目	系
フリガナ	
氏 名	

大きさ たて4.5cm×よこ3.5cm

写真貼付欄



注意
上半身、脱帽、正面
向きで最近3か月以
内に撮影したもの
写真の裏面に氏名を
記入してください。

撮影年月日
令和 年 月 日

受験票

受験番号	※
志願専攻名	学専攻
学力検査において選択する専門科目	系
フリガナ	
氏 名	

専攻科入学検査時間割			
推薦 選抜	前 中 期	集 合	9:30
		プレゼンテーション 口頭試問, 面接	10:00 ~
学力 選抜	中 後 期	集 合	8:50
		数 学	9:30 ~ 10:30
		専門科目	10:50 ~ 12:20
		面 接	13:10 ~
特別 社会人 選抜	前 中 後 期	集 合	9:30
		プレゼンテーション 口頭試問, 面接	10:00 ~

注意事項

1. 受験の際は、必ず本受験票を持参してください。
2. 本受験票は、検査中、机の右上に置いてください。
3. 机の上に置けるものは、「受験票」、「筆記用具」及び「時計（計時機能だけのもの）」です。
4. 本票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに係員に届け出て指示を受けてください。
5. この受験票は、入学手続きが完了するまで保存しておいてください。

きりとらないでください

プレゼンテーション要旨

[illegible]

- 1) 表紙のアドミッションポリシー(入学者受入方針)を参考にして書いてください。
- 2) 記入にあたっては、黒のボールペンを使用し、文字は楷書で記入してください。
- 3) ※印欄は、記入しないでください。

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

令和8年度
大島商船高等専門学校 専攻科入学志願者

推薦書

大島商船高等専門学校長 殿

所在地

学校名

学校長氏名

職印

下記の者は、貴校への専攻科推薦入学にふさわしい者と認め推薦します。

記

フリガナ		性別	志願専攻名	
氏名		男・女		_____学専攻
(生年月日)	平成 年 月 日生			
(推薦所見)				

記入上の注意

- 推薦所見は、人物、能力、適性等具体的に記入してください。
- ※印欄は、記入しないでください。

受験番号	※
------	---

令和8年度
大島商船高等専門学校 専攻科入学志願者

調 査 書

志願専攻名	学専攻			出身校 (学科)	国立 公立 私立	学 校				
フリガナ			性別			学 科				
氏 名			男・女							
(生年月日)	平成	年	月	日生	平成・令和 年 月 卒業・卒業見込					
学 科 内 席 次	1年	位／	人中	欠 席 日 数	1年		評 価 基 準		点 ～	点
	2年	位／	人中		2年				点 ～	点
	3年	位／	人中		3年				点 ～	点
	4年	位／	人中		4年				点 ～	点
	5年	位／	人中		5年				点 以下	
卒業研究 題 名						卒業研究 指導教員				
所見等										
上記の記載事項に相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 学校長氏名 記 載 者 TEL () - 職印										

- 記入上の注意
- 1.評価基準欄は、出身学校で作成した成績証明書の「評語の評定基準」について記入してください。
 - 2.所見等欄は、在学中の人物・課外活動・生活態度等について記入してください。
 - 3.※印欄は、記入しないでください。

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

令和8年度
大島商船高等専門学校 専攻科入学志願者

出願承諾書

大島商船高等専門学校長 殿

所在地

企業名

所属長名

印

下記の者が、貴校への専攻科入学試験に出願することを承諾します。

記

出願者氏名

生 年 月 日

平成 年 月 日 生

所属部・課・係

※印欄は、記入しないでください。

宛 名 票

合否の通知及び合格後の入学手続き類等を送付する際に使用しますので、
本票すべてに志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

また、アパート、団地等の場合は、アパート名、棟番号を記入してください。

なお、出願後に退寮等で住所等が変更になった場合は、速やかに学生課
教務係に連絡してください。

(注) ※印欄は記入しないでください。

□□□-□□□□

(住 所)

(氏 名)

様

※

□□□-□□□□

(住 所)

(氏 名)

様

※

□□□-□□□□

(住 所)

(氏 名)

様

※

